

2022年6月27日

あおぞら投信株式会社

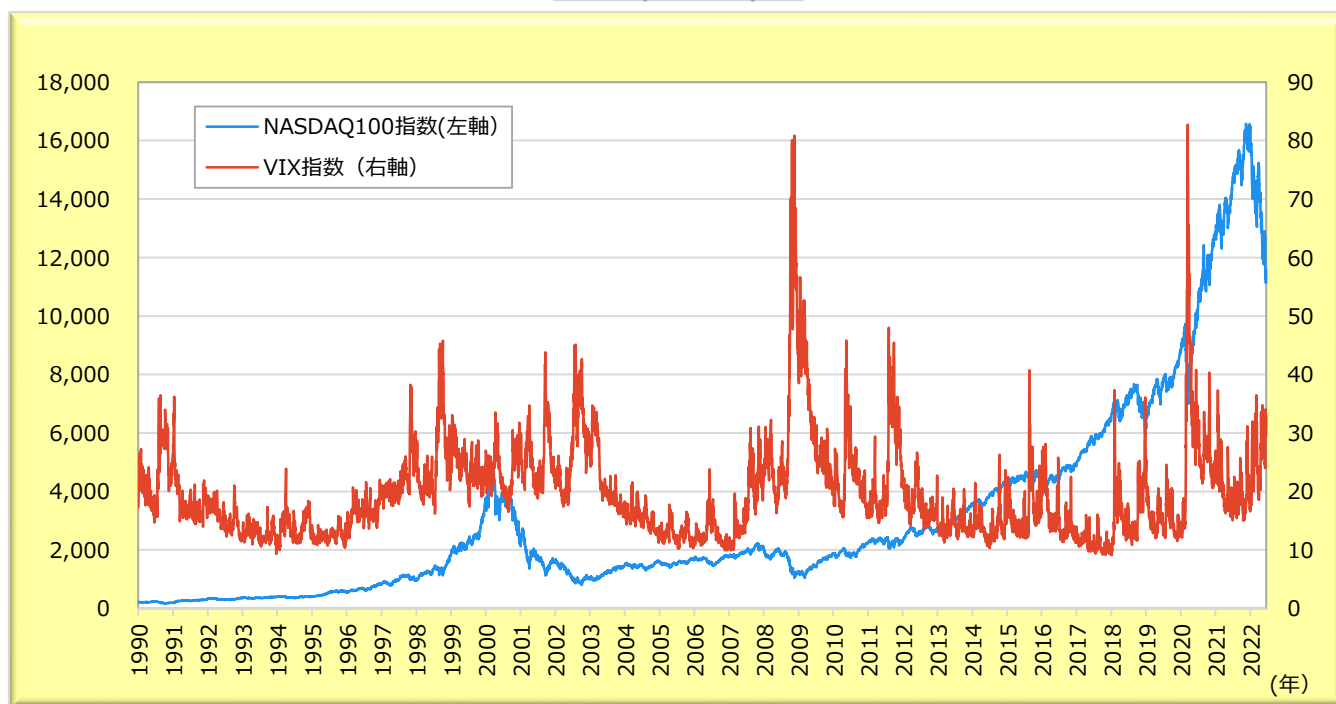
## 「ボラティリティ 動きを知るとは 何の事 観察見定め 行動の意志か」

ボラティリティ(Volatility: 予想変動率)という言葉が、市場関係者のみならず一般的に使われ始めた大きなきっかけは、2008年の世界金融危機でした。その後、世の中が不透明な状況であることを“VUCAの時代”と表現するようになりました。「Volatility(変動性)」「Uncertainty(不確実性)」「Complexity(複雑性)」「Ambiguity(曖昧性)」は元々軍事用語でしたが、予測の難しい現在社会を表す言葉となったのです。そのような中でVIX指数は株式市場の変動性を表し、時には“恐怖指数”と呼ばれています。

VIX指数とは、シカゴ・オプション取引所(CBOE)が、S&P500を対象とするオプション取引(満期30日)インプライド・ボラティリティを基に算出する指数です。そして、VIX指数が上昇すると同時にS&P500が下落する場合がありますため“恐怖指数”と呼ばれるのです。ただし、VIX指数は予想変動範囲であり、上昇することも含んでいるので、必ずしも下げの“恐怖”ばかりではないのです。また、VIX指数は将来の変動を示すと捉えられるときもありますが、実際には過去の値動きから計算しただけのヒストリカル・ボラティリティと大差ないという事実もあります。そして、株式市場の参加者は相場の上昇と下落を捉えたいという気持ちがあり、その中でもリスク・マネジメントが重要となるため、自分のポジションの変動率をコントロールする必要があるのですが、それは最も難しいことでもあります。米国空軍ではVUCAに対応するための「OODA(ウーダ)ループ」という考え方があります。これは空軍パイロットのあるべき意思決定をまとめた理論で、Observe(観察)、Orient(情勢への適応・見定め)、Decide(意志決定)、Act(行動)の4つを繰り返すことで、より素早くより良い意思決定を目指すというものです。このように我々も不透明な時代だからこそ、OODAのように、よく見極めて行動することが大切なのだと考えるのです。

柳谷俊郎

### VIX指数・NASDAQ100指数推移 (1990/1-2022/6)



出所：シカゴ・オプション取引所、NASDAQのデータに基づきあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2771号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>